

2015アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名[中能登町立鳥屋小学校] 担当教諭名[竹原 仁美] (4年 1組 20名)

交流相手国[タイ]

海外学校名[Plearnpasa Language School] 担当教諭名[Somrat Bureerat]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教 科	単 元 名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	ぼくらの未来・地球の未来を考えよう	45

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	Nature & Culture
絵に込めたメッセージ	日本や自分達の町の自然や文化のよさを伝えたいという思いと、その自然や文化は、交流国のタイとも共通点があってつながりがあり、これからも仲良くしていきたいという思いを表現している。
	

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
・自分達の町のよいところを調べて紹介することで、自分達の町のよさを再認識できた。 ・相手に伝えたいことを伝えるために、はっきり話すこと、相手の方を見て話すこと、言葉は大切であるが、さらにわかりやすい工夫をすることも大切であることがわかった。 ・日本とは全く文化の違う国の友達と交流して、外国に目を向けることができた。また、英語で知らない友達ともコミュニケーションをとることができることがわかった。 ・みんなで共同壁画を描く体験をしたことで、みんなで協力して物事をやりとげることの大切さと楽しさを学んだ。	・コミュニケーション能力を育てたいが、小学校4年生にとっては、英語のハードルはやや高かった。 ・初めから「協同学習」というめあてをもって学習させることで、人間関係づくりやクラス経営等と深く関係づけて活動させることができる。今回は最後にそのことに気付いたのがやや残念であった。この活動は、さまざまなねらいを設定できる可能性があるので、何をめあてに活動させるのかをよく考えて活動させるべきである。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手国や世界に対しての意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
・国が違って、共通なことや似たことがあるんだとわかった。 ・言葉は違って、英語という共通語で伝えたいことを伝えられることがわかった。 ・世界は遠いが、身近に感じられた。	・英語の壁は厚いが、思いや言葉が伝わる嬉しさや楽しさを感じたが、世界ともっと思いを通わせるためには英語力を身に付ける必要があると感じたし、そういう子どもたちを育てなければならないと感じた。(4年生でどこまですべきかは課題)

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活 動 内 容	児童生徒の反応	実施教科等
自己紹介	9月 10月	9月に自己紹介のしかたを考える。紙に書いたものを見せた方がわかりやすいと思い、英語で書いたり話す練習をしたりした。 10月にテレビ会議で、自己紹介をした。	子どもたちははりきって練習をした。英語はわからないが、とにかく書いたり話したりということを、交流を楽しみにしながら練習した。テレビ会議では、タイの友達にしっかり伝わるように、はっきりわかりやすく話すようにがんばっていた。	総合10
テーマ学習	10月 11月	1学期に調べた中能登町のよさをグループ別に模造紙にまとめたものを、フォーラム上で送った。テレビ会議の予定だったので、話す練習もたくさんしていたが、相手校の機器の都合でできなくなった。	はりきって練習していた。自己紹介より難しい英語で量も多かったので、書くことも話すことも大変だった。テレビ会議ができないとわかり、残念そうであったが、自校の隣学級との交流で披露した。交流国タイからのユーチューブを見て、タイのことも知り、興味関心を高めた	総合14
構図決定	12月	交流国との共通点を3点フォーラムで連絡しながら決めて、その他に自分達独自の町の紹介を入れた絵を5つのグループごとにデザインし、それらのよいところを集めて、仕上げた。	5つのグループの案が入り、全員の案やデザインが入った絵になり、みんなが満足のいくデザインになった。	総合8
壁画制作	12月	自分達のグループでデザインした絵を中心に下絵をシートに書き写した。色塗りは、山と地面など、全員が関わる部分と、それぞれのグループが担当しるところを決めて全員で協力して色塗りをした。	みんなやる気満々、全員で協力して楽しく色塗りができた。制作期間が短かったので、短期目標と最終目標を掲げながら、目標に向かって全員の気持ちを一つにしてがんばった。出来上がった時は満足感、達成感いっぱいになった。	総合10
鑑賞・振り返り	2月	届いた絵を鑑賞して、感想を書いた。また、絵についての質問があり、フォーラムで送った。	送られてきた絵を見た児童は、その絵の上手さや、自分達の絵に合わせて描いてあることに大変感動していたし、絵に大満足の様子であった。	総合3

■学習目標(つきたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入（A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった）

「成果」先生の手応え（5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった）

学習目標・つきたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	4	自分たちの町のよさを伝えたいという気持ちでよく調べていた。また、他の町のこと(タイでもよい)を知ること、広い視野で深く自文化を理解できると感じたので、最後に再度考えてみるとよかったのかもしれない。
異文化の理解	B	3	ユーチューブを見て、少し興味をもったが、さらに調べる時間をとることができなかった。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	A	4	どうしたら、うまく聞こえるか、理解してもらえるかということを考えながら練習していた。また、よく聞こうという姿勢も見られた。
情報活用能力 (情報収集・発信)	A	3	ややインターネットに頼りすぎていたので、多様な調べ方をしてそのよさを例をあげて教えなければいけなかったと感じる。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	A	4	グループで考えたり練習したりしたこと、また、絵を協力して描いたことは人間関係をつくる場になった。
協働する力 (役割分担・協力)	A	4	絵を描く時に、好きなことだけをしたいという思いが強い児童が何人かいたが、我慢したり描いたりできない子のことも考えることが必要であることも学ぶことができた。
学習を追究する意欲	B	3	自分の町のことを興味関心をもって調べていたが、多様な調べ方をしようとか、もっと深く調べようという思いで取り組む児童は少なかった。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	B	4	デザインは子どもたちの発想を大事にして、表現することができた。色塗りは、こちらから方法(雑巾でとか、綿棒を使って、等)を指示することが多かった。
作品を鑑賞する力	B	4	タイの絵が自分達の絵に加わり、完成作品を見たときの感動は大きく、絵を見ている様子から嬉しさも大変伝わってきた。絵の感想を書いたが、その感想をもっと交流してもよかった。

